

あんじ

“あんじ”とは、北松浦半島地方の言葉で、航海術・航海者のことを言い、漢字を当てれば“**行師**”、あるいは“**按針**”と書きます。

2025年 夏号

第14号

発行
松浦中央病院

長崎県松浦市志佐町
浦免856番1

contents

巻頭言 看護部長ごあいさつ

特集

特定行為研修修了
看護師紹介

ミニ
特集

- ・基礎看護実習開始
- ・松浦よかところ体操(第2弾)の制作
- ・介護予防・地域支え合いサポーター養成講座
- ・栄養管理室より「旬のレシピ」
- ・中学校職場体験



檜原湿原
撮影者:平山 隆一

私たちは「地域に寄り添える 医療と看護」を実践していきます

診療科目

内科 人工透析内科 循環器内科 呼吸器内科 外科 消化器外科 肛門外科
整形外科 リハビリテーション科 耳鼻いんこう科 皮膚科 放射線科

診察受付

月～金曜日／午前8:30～11:30・午後13:00～16:00
休診日／土日曜・祝日、年末年始

ご自由にお持ち帰りください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

松浦中央病院



ごあいさつ

看護部長 平山 香織

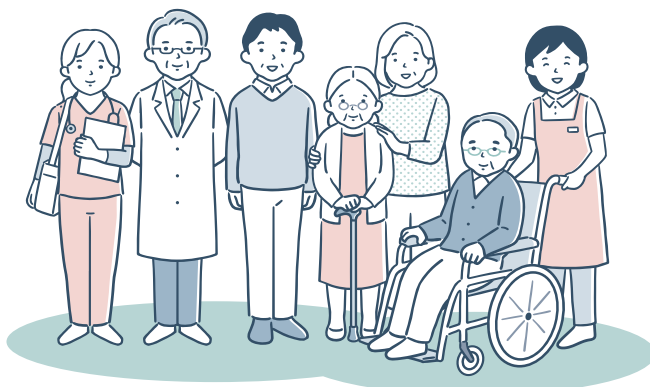
このたび、2025年4月より松浦中央病院の看護部長として着任いたしました平山です。地域の皆さま、そして関係機関の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

当院は、急性期一般病棟47床、地域包括ケア病棟38床の計85床を有し、地域に根ざした医療と看護を提供している病院です。私たち看護部は、「地域の皆さまから信頼される、心のこもった質の高い看護の提供」を理念に掲げ、地域の方々が住み慣れた場所で安心して療養できるよう、多職種と連携したチーム医療を推進しています。地域に根ざす病院として、単に病気を治すだけでなく、「その人らしい生活」を支える看護を大切にしています。

また、地域医療を支える看護の質を高めるため、看護師一人ひとりのキャリア支援にも力を注いでいます。JCHOラダーによる継続教育や、特定行為研修を修了した看護師の育成・活用にも取り組み、地域包括ケアに必要な高度な実践力を持った人材づくりを進めています。

働く環境としても、人間関係が良好で、超過勤務が少なく、チームワークを大切にする風土があります。今後も、職員が安心して働き続けられる職場づくりをさらに進め、患者さんにとっても、職員にとっても「この病院でよかった」と思える看護部を目指してまいります。

これからも、地域の皆さまに信頼され、必要とされる存在であり続けるために、日々の看護を誠実に積み重ねてまいります。地域の皆さま、そして関係機関の皆さまには、これからも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





基礎看護実習開始

～伊万里看護学校(准看護科過程)～



副看護部長 田邊 勝久

2025年1月21日～2月27日まで、当院では2回目の伊万里看護学校(准看護科過程)看護学生12名の基礎看護実習を受入れました。基礎看護実習では、医療施設における看護援助場面の見学が主になります。具体的には実習指導者である病棟看護師をシャドーイングしながら、日常生活の援助の体験や環境整備などの初歩的な技術を学び、看護の機能・役割を理解し、准看護師としての基本姿勢や患者さんとのコミュニケーションの能力を学習していきます。

当院は今回2回目の実習受け入れですが、約半年間、学生の受け入れ準備など伊万里看護学校の先生方にも御協力をいただきながら研修会を繰り返し行い準備など進めてきました。実習開始時は、学生のみなさんも初めての看護実習で大きな不安と期待や緊張感が伝わりました。実習担当になった病棟看護師も緊張しながら戸惑いもありましたが、熱心にできる限りのことを一生懸命に指導・説明していました。学生の皆さんは、病棟看護師をシャドーイングしながらベットサイドに立つと笑顔で会話し、患者さんのそばに寄り添いながら、「ありがとう」「立派な看護師になってね」の声に励まされ、学生である自分に何ができるかを悩みながら毎日の計画を立てている姿が印象的でした。学内実習では学べない、病院実習の醍醐味を感じることができたと思っています。

今回、学生達は最初の基礎看護実習が終了しました。今後、当院の基礎看護実習で学んだ内容が学生たちの更なる成長へと繋がることを期待し、これからも頑張ってもらいたいと思います。また、准看護師資格試験合格を目指し、最後の最後まで諦めることなく突き進まれることを願っています。

そして、将来、当院で一緒に働くことができれば幸いに思います。





副看護部長 田邊 勝久

当院の特定行為研修修了看護師に対して、当院の取り組みと活動についてご紹介いたします。

今後、日本の更なる超高齢化は避けられない状況において、看護師の役割はますます重要となってきています。看護師は「生活」の視点とともに「医療」の視点が求められる中、2014年6月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。



看護師が行う特定行為とは、従来医師が行っていた行為を「手順書」と呼ばれる包括的な指示のもと、特定行為研修を通して実践的な思考力と判断力、高度な知識と技術を習得した看護師が実践する医学的行為のことです。21区分38行為が厚生労働省により定められており、急性期から在宅医療にまで幅広く活用されています。



当院の特定行為修了看護師は、臨床推論をもとに診る医学的視点と患者さんを全人的に捉えた看護的視点を組み合わせた実践を行うことで、質の高い安全な医療・看護の提供やチーム医療のさらなる推進、医師の負担軽減を目指して活動しています。

現在、7名の特定行為研修修了者が在籍し、医師並びにコメディカルと連携しながらチーム医療のキーパーソンとして活動しています。特定行為の主な内容としては、透析管理関連、壊死組織の除去、陰圧閉鎖療法、中心静脈カテーテル関連・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連などを中心に行なっています。



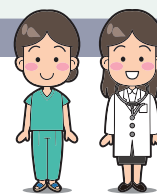
医療・介護提供体制の改革が進められている今、医療ニーズをもつ多くの人々を支えるために多職種の協働が欠かせない時代となりました。患者に最も近い現場にいる看護師がチーム医療のキーパーソンとして、患者のニーズに対応し、医師・その他医療関係者から期待される役割を十分に担えるよう今後も努力してまいります。



特定行為研修修了看護師紹介



特定行為の一部をご紹介



主治医と連携して中心静脈カテーテル挿入や陰圧閉鎖療法を行い、積極的に栄養改善や褥瘡治療を行っております。

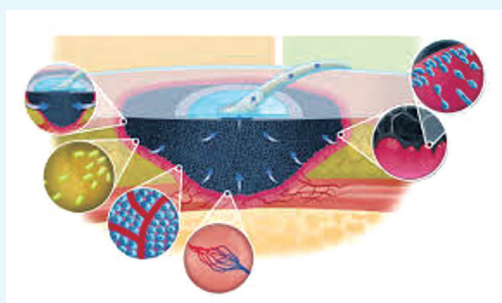
末梢留置型 中心静脈カテーテル(PICC)挿入



透析管理関連



陰圧閉鎖療法

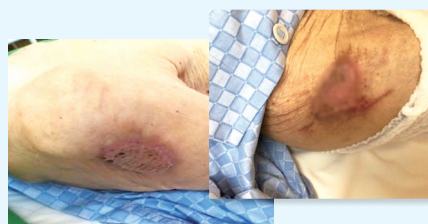


皮膚潰瘍部にドレッシング剤を貼り密封します。その後、創傷を陰圧にします。

週に2回張り替え、3～4週間続けます。その間は動くこともできますし、入浴も可能です。

褥瘡などの難治性創傷治療として陰圧閉鎖療法を行っております。今まで治療に苦労した褥瘡等も、改善・治癒した症例も多数あります。

症例



松浦よかとこ体操(第2弾)の制作

松浦市
との
連携事業



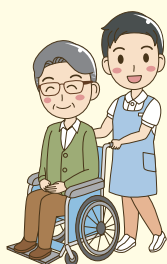
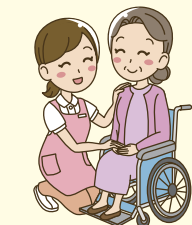
通いの場で主体的に介護予防に取り組むことを目的に、松浦市長寿介護課と県北地域リハビリテーション広域支援センターの共同で、R4年度に松浦よかとこ体操(第2弾)を制作しました。当院からも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が参画しています！

また介護予防リーダー養成講座等でも当院より講師派遣を行い、関係機関と連携しながら、地域に向けてリハビリテーションを分かりやすく、情報発信を行っております！



介護予防・地域支え合いサポーター養成講座

R7年6月4日に松浦市保健センターにて認知症についての講座を行いました。この講座は、認知症に対する正しい知識と理解を深め、地域で認知症の人やその家族を温かく見守り、支援していくためのものであり、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するための重要な取り組みになります。参加された方も、認知症に対して非常に関心が高く、毎回いい刺激をいただいています。是非、多くの方に受講していただき、みんなで地域を支えていきましょう！



身近な人に認知症の人がいれば、一人で悩まず、かかりつけの病院や地域包括支援センターへ相談してみましよう。



熱中症予防!!

ピーマンの塩昆布炒め



6～9月が旬のピーマンは、ビタミン類が豊富に含まれています。ビタミンCは加熱すると壊れやすいですが、ピーマンは果肉が厚いため、他の野菜に比べて、加熱してもビタミンCの損失が少ないのが特徴です。

ピーマンの苦みが苦手な方は、甘みのあるパプリカを選んではいかかでしょうか。赤色や黄色のパプリカを使えば、彩りも豊かになります。(無駄なく、おいしく。野菜をもっと!参照)

今回ご紹介したレシピは旬のピーマンを美味しく食べられるだけではなく、塩昆布のほどよい塩分を摂ることで熱中症予防にもおすすめです。ただし、塩分の摂り過ぎには注意しましょう!

暑さに負けない体をつくるためには、こまめな水分補給、食事や睡眠をしっかりと、日頃から体調をととのえておくことが重要です。かかりつけ医から水分や塩分の制限をされている場合は、相談の上、指示に従いましょう。



ピーマンの塩昆布炒め

材料 (2人分)

- ピーマン 2個(80g)
- 赤パプリカ 1/4個(50g)
- 黄パプリカ 1/4個(50g)
- 塩昆布 10g
- 白いりごま 大さじ1
- サラダ油 大さじ1



作り方

- ① ピーマンは縦半分に切り、ヘタと種を取り除き1cm幅に切る。パプリカも同様に1cm幅に切る。
- ② フライパンに油をひき、ピーマンとパプリカを炒める。
- ③ 塩昆布、白いりごまを加えて炒め合わせる。
- ④ 全体に味がなじんだら、出来上がり。

管理栄養士: 東谷 美智子



中学校職場体験

副看護部長 田邊 勝久



志佐中学校
3年生が3人
来てくれました



2025年6月25日～6月27日の期間、地元の志佐中学校3年生3人の生徒さんが、職場体験のために当院を訪れてくれました。最初はちょっと緊張した様子でしたが、次第に笑顔も見られ、スタッフと楽しく交流する姿が印象的でした。病院の仕事は

多岐にわたりますが、今回は、病棟での体験を主に行いました。また、リハビリ室・人工透析室・手術室等を見学してもらい、普段なかなか見ることができない部門を知ってもらう機会となり、働く人達の思いや働く上で大切なコミュニケーションの重要性、患者さんとの関わりのお大切さ、患者さんに接する際のマナー等を感じてもらえたのではないかと思います。短い期間でしたが、生徒さんたちは熱心に話を聞かれています。今回の体験が将来の進路選択や地域医療への関心につながってくれと嬉しく思います。志佐中学校3年生3人の皆さん、ありがとうございました。将来、一緒にお仕事できる日を楽しみにしています。





診療時間

平日／9:00～17:00(土日・祝祭日は休診となります。)
※急患の際はいつでもご来院ください。

13:00～20:00(※現在、面会制限しております。)



松浦中央病院

Japan Community Health care Organization : JCHO

〒859-4594 長崎県松浦市志佐町浦免856番1

TEL 0956-72-3300

FAX 0956-72-3310

URL <https://matsuura.jcho.go.jp/>

健康管理センター TEL 0956-72-5700

訪問看護ステーション TEL 0956-72-3340